

Pickup!① ゆっくり・のんびり・安全に！

11月1日、上県町の田ノ浜地区多目的集会施設で予約制ミニバス「こんどろバス（10人乗り）」の出発式が行われました。昨年「田ノ浜・檜滝間予約制ミニバス運行協議会」が立ち上がり官民一体となって協議し、住民の通院や買い物の足として運行を開始しました。完全予約制で田ノ浜から仁田診療所は1日3往復（火・水は4往復）、週1回月曜日は峰町ザラゴのハートランドまで運行します。

※ こんどろ：田ノ浜・伊奈地区で「亀」のこと



原田志多留区長と市長によるテープカット



みんなに見送られて出発する「こんどろバス」

赤米を未来に伝えるために

Pickup!②

11月14日、巖原町の豆敷小学校体育館で「赤米サミット2016 in 豆敷」を開催しました。

京都文教短期大学の安本義正学長の基調講演の他、パネルディスカッションや豆敷小学校1年生5名による、豆敷の風景写真を見た感想を一句にまとめた「フォト一句」を披露し、会場は和やかな雰囲気になりました。また、対馬市赤米諮問大使の相川七瀬さんは、赤米の保存・活用・継承に必要な経費にと「赤米ヒカリノミ基金」を設立し、その目録が3市町（岡山県総社市・鹿児島県南種子町・対馬市）に贈呈されました。

午前に行われた首長会議では、赤米を後世へ伝承するため3市町及び各保存会が、赤米伝統文化の保存・活用・継承を目的として「赤米伝統文化連絡協議会」を設立しました。

協議会は平成29年4月の日本遺産への認定を目指します。



「一句詠みます」豆敷小1年 近藤 慶嗣君



豆敷中学校生徒と相川七瀬赤米諮問大使（中央）

Pickup!③ 熱き思い! 『豚魂』で対馬をPR

11月19・20日、大分県佐伯市で開催された「2016西日本B-1グランプリin佐伯」で、対馬とんちゃん部隊が見事ゴールドグランプリに輝きました。

23団体が参加し、約98,000人が訪れた今大会では、持ち前の元気を前面に出し、2位に大差をつけての栄冠となりました。

また、12月3・4日に行われた「B-1 グランプリスペシャルin東京・臨海副都心」にも出展し10位入賞、全国に対馬をPRしました。



やったぞ!!ゴールドグランプリ



東京で対馬をPR!!『がんばりました!!』

「自助」「共助」を高めるために

Pickup!④

11月20日、対馬市商工会厳原支所で対馬市消防団厳原第二分団のボランティア団体「厳原中央西」主催で『城下町たすけあい事業』が行われました。

厳原町の国分地区・今屋敷地区・久田道地区・久田道西里地区の住民の皆さんと消防団員が、4地区の危険箇所の確認や、避難経路の確認を行い、住民と消防団・消防署職員との情報共有を行い、防災に対する意識を高めました。

終了後、災害時に炊き出しで作る事が予想される、豚汁やおにぎりの試食会も行われました。



「ここは危ないよ!」と指摘する参加者



炊き出し試食会に列をつくる参加者達